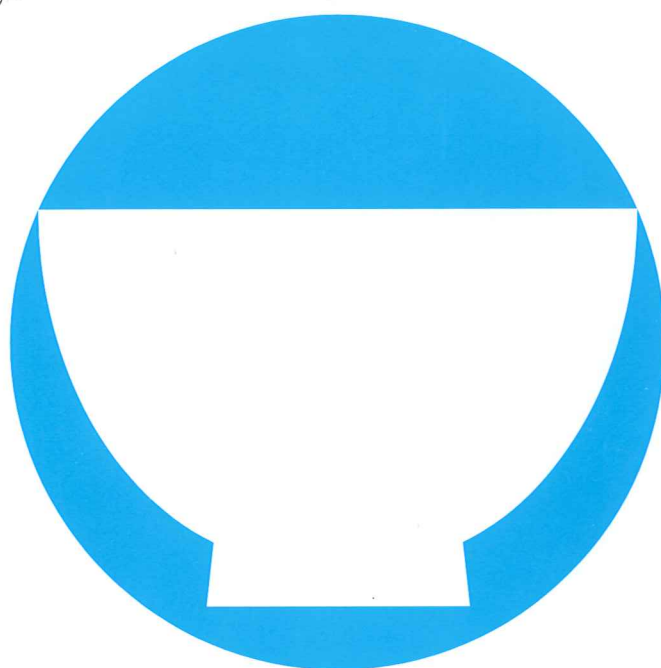


来まい、食べまい、話まい。

友がいて、懐かしい故郷の味がある。

〈式次第〉

- 一、 開会の辞
- 一、 東京玉翠会会長挨拶
- 一、 議事
 - 会計報告
 - 監査報告
- 一、 来賓紹介
- 一、 来賓挨拶
 - 高松高等学校校長
溝渕 利博先生 (昭和41年卒)
 - 玉翠会会長
多田野 久氏 (昭和25年卒)
- 一、 東京玉翠会総会
20回記念寄付贈呈
- 一、 乾杯
 - 香川県知事
真鍋 武紀氏 (昭和34年卒)
- 一、 懇親会次第
 - 1. 模擬店開店
 - 2. お楽しみ抽選会
 - 3. 母校図書購入資金贈呈
 - 4. 次回総会担当幹事
(昭和54年卒) 紹介
 - 5. 本年度総会担当幹事代表
(昭和53年卒) 挨拶
 - 6. 応援歌・校歌 斉唱
 - 7. 模擬店閉店
- 一、 閉会の辞



NATSUKASHII FURUSATONO TABEMONO MATSURI

20年目の玉翠祭

いつの間にか年を重ねた私達が、学園祭をやりたいと思った。
仕事のこと、時間のこと、いろんな制限のある中で、
一所懸命考えるとこんな形になった。
毎年会う友がいる。何年ぶりの友がいる。
そして、思い出深い故郷の味がある。
「来まい、食べまい、話まい。」私が私にもどる時。



東京玉翠会20回記念総会

日時：平成14年7月13日(土)午後4:00～6:00／場所：東京プリンスホテル〈鳳凰の間〉

平成13年度収支計算書(案)

自 平成 13年 4月 1日
至 平成 14年 3月31日

東京玉翠会
会長 辻 義文

〈特別会計〉

支出の部		収入の部	
科 目	金額(円)	科 目	金額(円)
会場使用料	5,589,535	総会出席会費	5,461,000
会場運営費	1,400,733	男性 541人	
総会準備費	1,579,438	女性 261人	
母校寄付金	150,000	寄付金収入	333,000
プログラム制作費	1,063,965	雑収入	4,111,536
一般会計への繰入	121,865		
合 計	9,905,536	合 計	9,905,536

〈特別会計〉

支出の部		収入の部	
科 目	金額(円)	科 目	金額(円)
支部交付金	360,500	前期繰越金	10,232,994
通信費雑費	33,210	年会費	778,000
次年度立替金	800,000	預金利子	5,471
次期繰越金	10,744,620	前年度立替金	800,000
		特別会計より繰入	121,865
合 計	11,938,330	合 計	11,938,330

次期繰越金

内訳(イ) 百十四銀行東京支店			
普通預金 No.125044			5,700,108円
定期預金 (通帳式定期)	満期	平14. 9. 7	1,712,484円
定期預金 (通帳式定期)	満期	平14. 6. 14	2,128,758円
定期預金 (通帳式定期)	満期	平14. 6. 14	1,169,438円
(ロ) 手持現金			33,832円
合 計			10,744,620円

脚注 東京高中会並びに晩翠会東京支部よりの受入基金 1,500,000円は、上記定期預金にて運用されています。

上記収支決算書について、監査の結果、適正なる事を認める。
平成14年5月13日

監事 岡内 伸一 (印)
同 松本 僑子 (印)
同 鴨田 昭代 (印)

玉翠ヒットチャート

返信ハガキのアンケート集計によるランキング

- 1位 高校三年生
- 2位 フォークダンス&スクエアダンスの曲
- 2位 校歌 / 応援歌
- 4位 青い山脈
- 5位 心の旅

本日のBGMとして紹介いたします。

1位 高校三年生

S37卒～S43卒の皆さんの支持を受けて見事1位に輝きました。高校時代の思い出の曲、としては当然の選曲といったところでしょうか。

○夏休み四国一周自転車貧乏旅行したことを、歌を聞くたび思い出します。(S40卒男性)

2位 フォークダンス&スクエアダンスの曲

ほろ苦くも甘酸っぱい青春の思い出、といったところです。

○練習の時、誰とペアになれるかドキドキもの。(S30卒男性)

2位 校歌/応援歌

母校の甲子園出場を願って炎天下の市営球場で野球部を応援した記憶は鮮明に残っているようです。

○甲子園の時期になると何故だか思い出す、野球の応援のときに歌った応援歌。(S63卒男性)

4位 青い山脈

1位の高校三年生と並んで、昭和歌謡史における学園ソングの金字塔と呼べる名曲。S25卒～S27卒の皆さんから支持をいただきました。

○昭和24年4月で高中と県女が統合、共学となった。その時、ちょうど映画「青い山脈」と唄「青い山脈」が大ヒット。「若者の前途はまさに洋々として…」の感じ…。(S25卒男性)

上位曲以外へのリクエスト

恋の片道切符(ニール・セダカ):友人が英語の勉強と称して、「チュウチュウトレイン…」と口ずさんでいるのを聞いて勉強方法にもいろいろあるなと思った。(S36卒女性) Mr.Lonely (Letter Men):乙女チックな心情にキューンとくる曲調=青春でした。(S45卒女性) 夢は夜ひらく(藤圭子):ヒッキーの活躍を見るにつけ母君の、夢は夜ひらく、のメロディーとともに鬱々と悩んだあの頃を思い出します。(S49卒男性) Killer Queen (Queen):歌詞に「マリー・アントワネット」が出てくるというだけで、「ベルサイユのばら」に心酔していたわたしはチェックしていました。(S53卒女性)



NATSUKASHI FURUSATONO TABEMONO MATSURI
20年目の玉翠祭

友がいて、懐かしい故郷の味がある。

費用のこと、時間のこと、人手のこと、いろんな制限があります。私達のできる範囲の中で精一杯、故郷の味を再現してみました。東京のどの店で食べるよりもほんの少しには、懐かしい曲をリクエストして頂き、集計したものを揃えました。

が、私達のできる範囲の中で精一杯、故郷の味ですが高松の味に近づいたと思います。BGMと。どうぞ、短い時間ですが、お楽しみください。

玉翠グルメランキング

参加ハガキでうかがったものを集計しました。

1位	アズマヤ	43票
2位	ごんな	25票
3位	学食	21票
4位	まとや	14票
5位	さか枝	7票

①氷／まとや(まとや風)

玉子丼を食べた後、イチゴのかき氷をよく食べました。昼ご飯から帰って来たら、皆の舌が赤かったのがとってもおかしかったのを思い出します。「おまえも食べたんか」とおたがい指をさし合いました。お店を訪問すると氷のメニューは書いてありましたが、値段が書いてありません。



聞いてみると十年前にやめたとのこと。残念! 当時を思い出しながらイチゴのかき氷をご用意いたしました。

②ぶどう餅／巴堂(直送)

ぶどう餅は本来、武蔵餅と書きます。外はモチモチ中はコナコナ。あまりあわてて食べると喉につかえそうになりました。東京にいる卒業生が集まって食べることを伝えると、とても喜んで手配していただきました。



③鯛めし(直送)

鯛は香川県魚連様の御協力により、朝せりにかかった新鮮な鯛を高松空港から空輸していただきました。今、高松では1.5kgくらいの鯛が漁獲されているそうです。

④雑煮

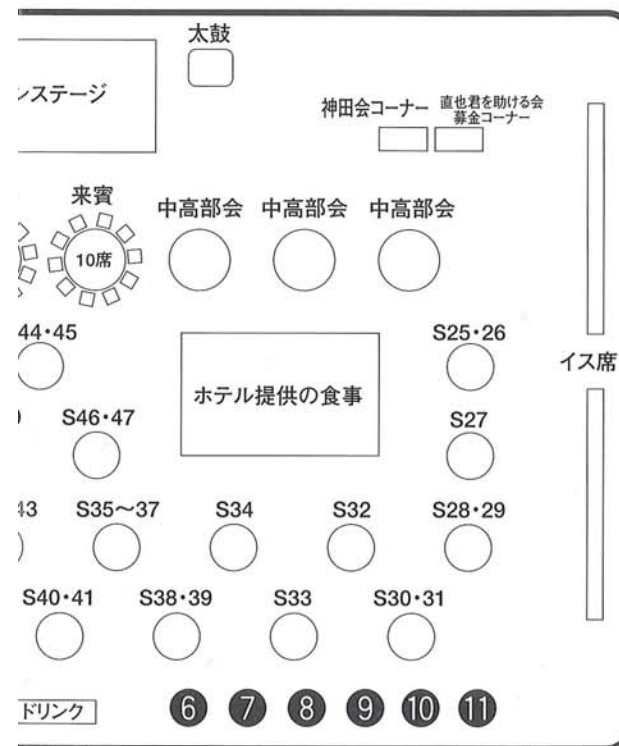
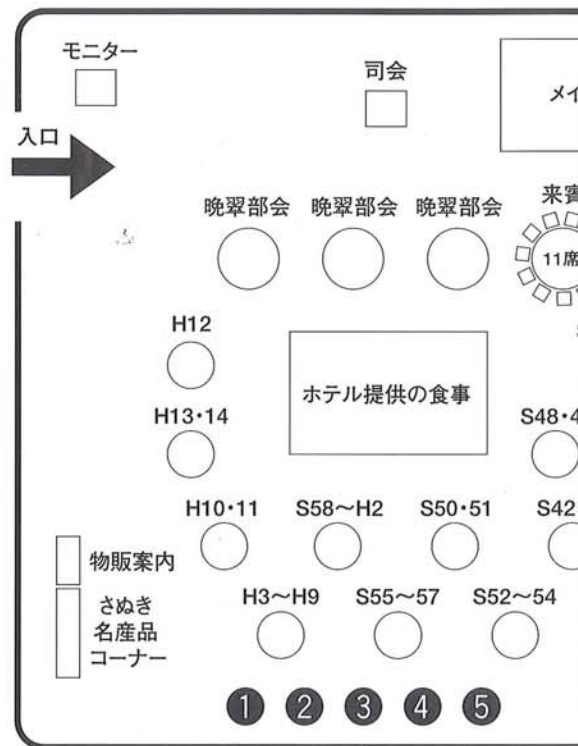
東京で高松の雑煮を知人に話すと、必ず「そんなの食べられるの?」と言われました。白味噌に餡餅、思いもよらない取り合わせかもしれませんが、一度にたくさんの量を準備するために、総会直前にお餅をつきました。

⑤ラーメン／ごんな(直送)

ラーメンの麺、タレを高松から送ってもらい、スープはごんなのレシピで作っていただきました。なんととハムは夏場の輸送条件により断念。せいっぱい作った”うまいぶん”をどうぞ。



祭会場のご案内



⑩おでん

牛スジ肉と平天が入ったおでん。関東の物とはちょっと違います。白味噌と和からしを合わせたからしも関東にはないものです。高松でセルフのうどん屋さんにはよくおでんがありました。

⑪寿司(直送)

香川県はハマチの養殖がたいへん有名です。これも香川県魚連様のご協力をいただき、素材を準備しました。甘エビ、穴子の握りもお楽しみ下さい。

⑧天ぷら(直送)

郷土以外では説明するのはなかなかむずかしい天ぷら。さつまあげのような練り製品とでも言えばいいのでしょうか。本日は上平天・エビ天・細天・きくらげ天・じゃこ天・竹輪をご用意いたしました。

⑨うどん

讃岐と言えばもちろんうどん。透明感のあるスープに腰のある麺。本日は冷かけでお召し上がり下さい。ネギときつねはご自分でセルフサービス。900玉をご用意いたしました。

⑥お好み焼き／ふみや(直送)

高松のお店で焼いたものを冷凍して運びました。もちろん秘伝のタレも。メニューは、牛・豚・いか・えび・鳥です。個性派のおじさんの顔を思い出してお召し上がり下さい。



⑦骨付鳥／一鶴(直送)

横浜にも出店した名店。すっかり讃岐名物になった一鶴。大きくて熱くてピリッと辛い。がんこに守る秘伝の味、やわらかくてジューシーなひな鳥をお楽しみ下さい。本日の骨付鳥は高松で焼き上げたものを直送していただきました。



校歌

高松中學校校歌

- 一、朝日輝く屋島山
小波寄する玉藻浦
平和漲る其の響
生氣溢る、其の光
我が學舎に充ち満ちて
勤しむ健兒一千餘
- 二、御稜威と共にいや高く
朝夕仰ぐ碑は
日嗣の皇子の行啓の
千代に朽ちせぬ記念なる
奮闘努力の健男兒
ゆめな忘れそそのかみを
- 三、嚴冬霜雪色變へぬ
紫雲の松を名に負へる
我が中學の健兒等よ
堅忍不撓功遂げて
屋島山頭いや高く
名譽の旗を翻せ……翻せ

高松高等女學校校歌

- 一、見れども飽かぬ玉藻の浦
千尋の底にしづくなる
その白珠の麗はしき
清き心を磨かむ
磨かむ……をとめわれ
- 二、朝夕仰ぐ屋島の山
峰の上はるかに並び立つ
その山松の色變へぬ
高き操を守らむ
守らむ……をとめわれ
- 三、開くる御代の幸多き
身にはつとめもさはなれば
うら若き日をたゆみなく
をみなの業を習はむ
習はむ……をとめわれ
- 四、いや榮ゆく皇国の
生ける効ある御民ぞと
仁慈あまねき大君の
みこと畏み盡さむ
盡さむ……をとめわれ

高松高等学校校歌

- 一、世紀新たな陽に映えて
朝雲匂う屋島山
お、眉清き若人が
向学の念揺ぎなく
澁刺挙る意気を見よ
- 二、平和輝く波よせて
鏡と澄める玉藻浦
お、純潔の若人が
真理の道を究めゆく
独立自主の熱意見よ
- 三、仰ぐ紫雲の松風に
雪持笹のさみどりに
お、希望わく若人が
自由と愛の血に燃ゆる
わが高松高校の自治をみよ